

イリノイ大学での講義も3ヶ月がした。授業に内容については前回の報告書と変わりはない。今回の報告書では留学で求められたものと週末の過ごし方について報告する。

留学先で求められたもの:

- ・プライオリティ(優先順位)
- ・オピニオン(意見を持つ)

・プライオリティ

語学担当の先生は、必ず言いました。「何をしにアメリカに来たプライオリティを考えると、私はアメリカで今工学系の授業、語学の授業をとっています。共にアメリカでしか学べない事があるため全ての授業を完璧にこなせれば問題はありません。しかし、私は英語での授業は初めてであり全ての授業を完璧にこなすのは不可能です。講義開始時は、せっかく留学に来ているのに怠けるわけには行かないと思い全ての授業を完璧にこなす為に頑張りました。しかし、結果的に全ての事が中途半端になってしまいました。私は、語学の先生の話聞き自分の行動すべてのプライオリティを意識して行動するようになりました。私のつけたアメリカでのプライオリティ、語学の勉強が一番です。なぜなら、アメリカでは何をやるにも必ず言葉の壁があります。その壁を早く下げる事で、留学中にできる事が増えると考えたからです。次に、健康維持の為に運動です。留学で一番問題になるのが健康管理です。保健の問題や、いざ病気になった時の英語での病状の説明の難しさが問題になります。しかし、一番の問題は病気になる限られた1年という留学を無駄にしまいます。また、アメリカでの生活も半年が過ぎた為生活にもなれましたが、思うように行かない事も多くストレスもたまりやすくなります。その為、定期的な運動は必ず行っています。次に専門分野の授業です。このプライオリティは現在あまり高い位置にありません。とっている授業も日本で学習したことの復習です。私は、授業内容を全てこなそうとするのが不可能のため、授業毎に自分で目標を立てそれに到達できるようにしています。しかし、これには問題があります。自分で立てた目標は下げる事が容易である為、はじめの目標を崩さずに保てるかが問題になります。とにかく自分で立てた目標を目指し常にプライオリティを意識して行動をしないと限られた留学は納得のいくものならない事がよくわかりました。

・オピニオン

アメリカでの授業スタイルは、私の望んでいたものでした。授業は、レクチャーとディスカッションで構成されているものが多く常に自分の意見を求められます。授業中にも挙手が多く先生の説明で納得いかない事があると、自分の見解を述べて反論します。結果的に、生徒の考えが間違っても意見の掛け合いでより深い理解ができます。今のところ専門分野の授業では突発的に始まるディスカッションには上手く参加できていません。全ては言葉の問題です。しかし、語学クラスのディスカッションでは積極的に意見をするようにしています。今は意見はあるのにそれを上手く英語に出来ないことに苦労しています。日本では突発的に質問をし、授業中寝てる人間などの見せしめに使われる事があります。クラスは静かで先生が強制的にあてるか、先生が勝手に納得して授業を流してしまう事が多いです。一方アメリカでは、先生が笑顔で質問を受け、笑顔で質問に答えています。質問の内容が学生に伝わってないと察するとさらに砕いて質問の内容がわかる所まで説明し質問を受けます。そして、質問時間を終える時は必ずみんなわかったか聞き、また学生もそれにレスポンスをしています。日本では、間違える事を恥ずかしがり発言しない学生も悪いがやはりクラスのカラーを作る先生の授業スタイルにも発言しやすい配慮があると感じました。

・週末の過ごし方

私は、現在インドアサッカークラブに加入し、週末の夜はクラブのメンバーとサッカーを楽しんでいます。ここでも言葉の壁は感じます。しかし、同じスポーツをやることで打ち解ける事はでき楽しむことが出来ています。ここでは集まった人間で適当にチームを編成して試合をしているので、コート周りにいる人間に自分から声をかけてチームに参加しなければ試合を楽しめません。ここでは英語に臆せずコミュニケーションをとる練習に最適です。

その他には、学生の特権として、学内で年間300近く行われる、ほとんどのクラシックやジャズのコンサート、美術館の入場料が1000円以内で楽しむことが出来ます。金沢にいた時も月に1度くらいは音楽堂などに音楽を聴きに行っていました。さらに身近に楽しむことができます。私は、せっかくの機会なので、コンサートホールのスケジュールを確認して気になるのがあれば積極的に楽しみに行っています。

このようになりに充実した週末を送ることが出来ています。